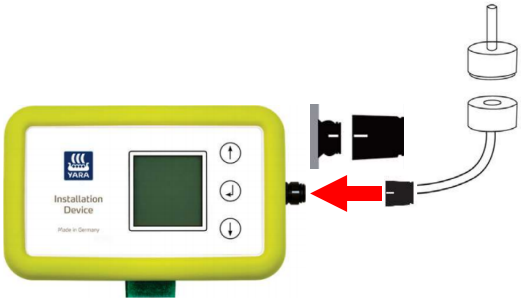
Environmental Measurement Japan

Yara Water Sensor installation manual

Installation Device

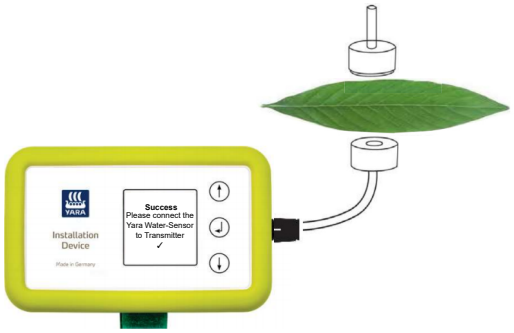


1.
Water SensorとInstallation Deviceを繋げます。繋げるときにコネクター雄雌の線を合わせて繋げます。

Strat by placing a leaf between the magnets.
too high Reclamp
too low Reclamp
Press ↓ for help

ディスプレイ：適切に葉を挟めていない時

2.
センサーを繋げたら、ディスプレイには上記が表示されます。
Reclampは挟み直しを意味します。



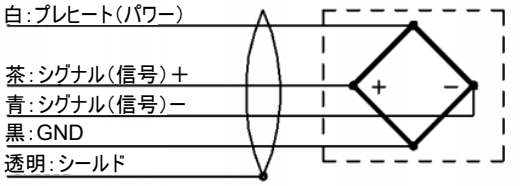
Success
Please connect the
Yara Water-Sensor
to Transmitter
✓

ディスプレイ：適切に挟めたとき

3.
適切に葉を挟むと上記の様に表示が変わります。この状態が計測開始可能という事になります。
マグネットの磁力はかなり強いので、葉を傷つけたりしないようにゆっくり丁寧に挟んでください。
Installation DeviceからWater Sensorを外します。

Cable Adapter

ピンアサイン

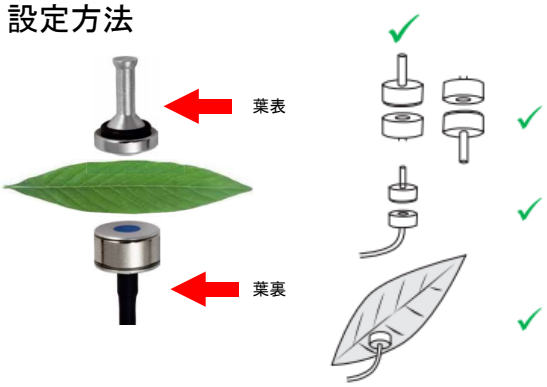


Cable Adapter **Yara Water Sensor**

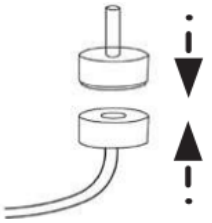
4.
ケーブルアダプターをデータロガーに配線しYARA Water Sensorに繋いで計測開始してください。
30分程放置し、データが取れているか確認します。問題がなければ計測を続行して下さい。

注意：
Yara Water Snesorの内部配線はブリッジ回路なっている都合で、黒（GND）と青：シグナル（信号ー）を絶縁することに注意して下さい。

設定方法

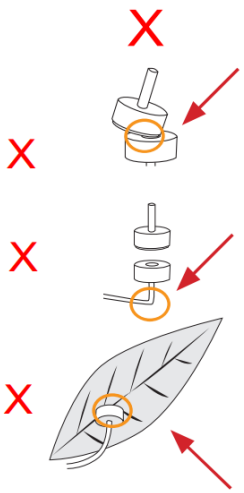


図のように葉を挟み込むだけで簡単です。

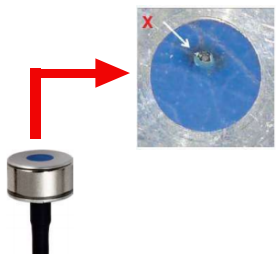


磁力が強いためゆっくり丁寧に扱ってください。
勢いよく挟んだりすると圧力センサー部分へのダメージに繋がります。

注意事項



上記のような設定はNG

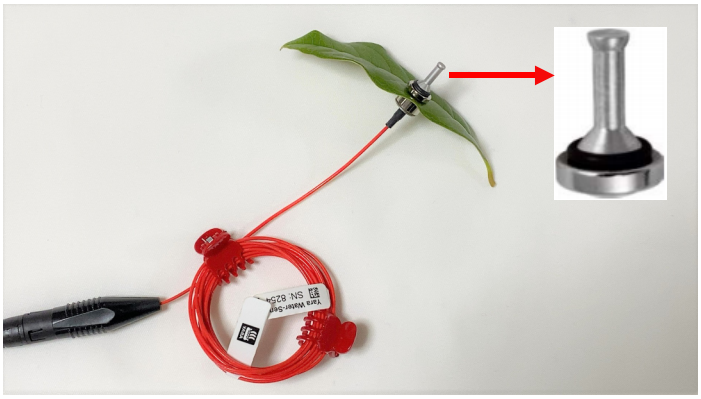


圧力センサーにダメージがあると
使用できなくなります。

Environmental Measurment Japan
日本環境計測株式会社
〒811-0215
福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号
TEL:092-608-6412
FAX:092-985-7844

Yara Water Sensor 磁力調節方法

Yara water sensorに使用するネオジウム磁石は磁力がかなり強いため葉を潰してしまう事があります。

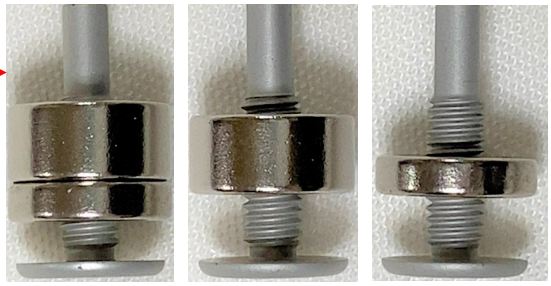


Web上にはこの様な写真を使用しております。この使用方法は磁力調節は不可能です。
写真のトーリックマグネットを使用しての計測が難しい場合は磁力調節可能な付属品を使用して下さい。

磁力調節

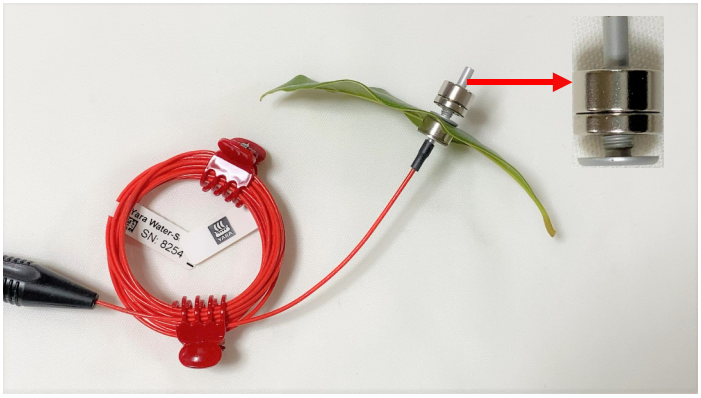
磁力調節用付属品

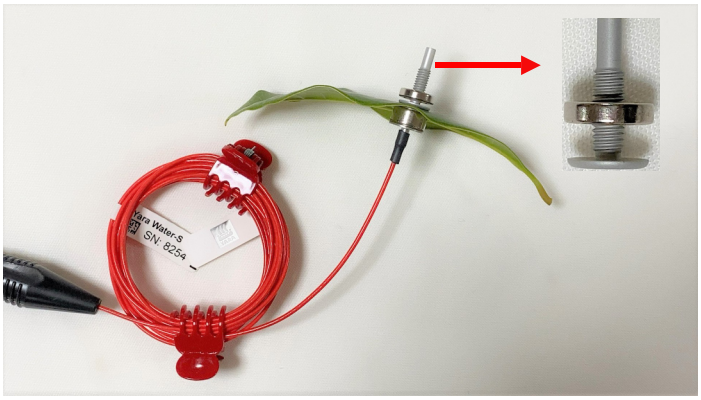
組合せ

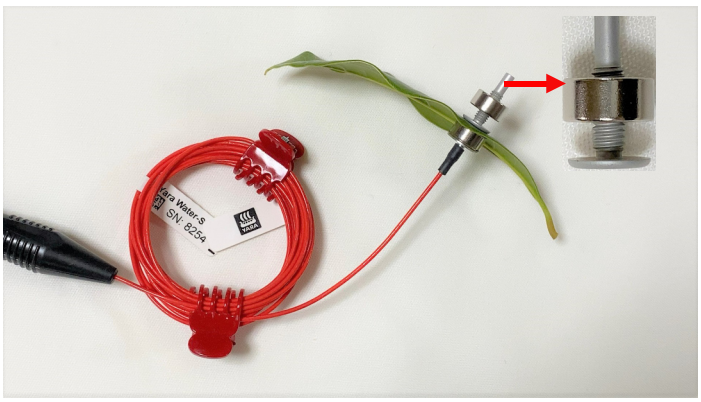


マグネットが可動できるので磁力調節が可能

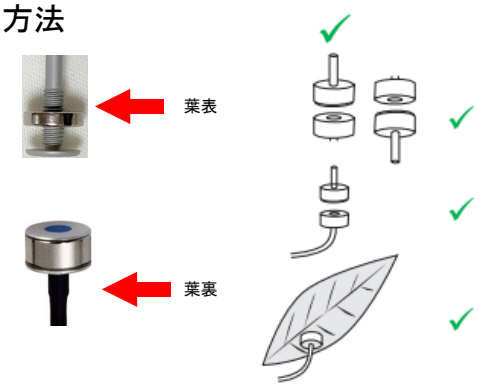
計測対象の葉に合わせて写真のような設置を試してみて下さい。





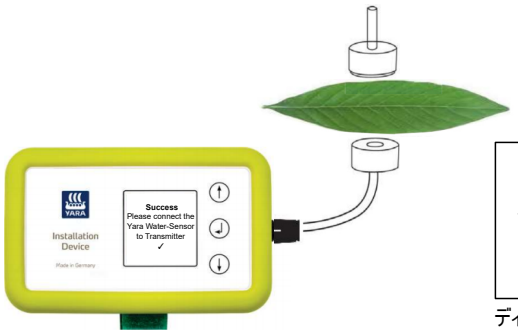


設置方法



図のように葉を挟み込むだけで簡単です。

適切な設置ができているか必ず確認して計測開始して下さい



Success
Please connect the Yara Water-Sensor to Transmitter
✓

ディスプレイ：適切に挟めたとき